



心余りて言葉足らず・・・

校長 伴 光明

長い休みは嬉しいような、不安なような。18日の朝、校長室に寄ってくれた児童が「おやすみ！」と言ってきました。とっさには返事ができず（今日は休みたい、帰りたい、と言っているのかな？そうであればウカツなことは言えないぞ）と、心の声。すると彼は両手を横いっぱい広げて、「おお、やあ、すう、み！」と繰り返し言ってきます。ピンと来ました！「長いお休み（はいつから?）」と言っていたのですね。私は卓上カレンダーをマークして彼に示しながら、「がっこう、がっこう、・・・おやすみ、おやすみ、またがっこう。その次は、ふ・ゆ・や・す・み！」と答えると、たいへん満足、納得してくれました。



どうやら彼は、いつもとスケジュールが変わるみたいだぞ？と不安を覚え、誰かに確認したくなったようです。不安をもやもやと抱え続けるのではなく、適当な人に確かめるのは、素晴らしい社会性です。子供は往々にして、自分の抱えている問題をうまく言葉で説明できないことがあります。聞く側ももやもやしなながら、本人の言いたいこと、表していることは何だろう？と考えることになります。結論を決めつけずに、あの手この手で引き出していくことができると良いですね。

豊かな言語環境で暮らすことは発達途上の子供たちにとってとても大切なことです。年末年始などは豊かな言葉に触れるとても良い機会です。どうぞ健康で、心豊かな冬休みをお過ごしください。※子供が抱えるもやもやした正体のはっきりしない不安を解消するために、本人の心情に寄り添った相談が必要になる場合があります。子供が問題に直面したときには相談してください、という文書を別にお配りしています。ご一読ください。

学びの連続性を実感！

副校長 平野 信治

12/14～15に、B高1年生の移動教室に引率しました。B高1年生は先日のふたば祭の舞台上で「Welcome to TOKYO!」を発表しました。生徒たち主体で東京の文化について学び発表したと聞いています。今回の移動教室では東京名所を回り、学びの検証や新たな発見など、生徒たちがこれまで学習してきた内容を、移動教室という場でも生かした、まさに学びの連続性を実感できた瞬間であったと思います。



さて、明日から冬季休業が始まります。冬季休業中の学校への緊急連絡と工事による影響についてお知らせします。

国立競技場スタジアムツアーにて

○健康や安全にかかわる重要な連絡がある場合にはご連絡をお願いします。【学校】042-558-0222

※夜間や休日に緊急の場合は以下にご連絡ください。

【A部門】070-1535-2528

【B小】070-1535-2506

【B中・高】070-3273-7608

○校舎増改築工事に伴い、以下の日程は全館停電となります。

・12/26(火) 14:00-16:00 ・12/27(水) 9:00-15:00

※停電の時間は工事の進捗状況により変更となる場合があります。